

統合システム運用管理

IT運用自動化

JP1/Automatic Operation のご紹介

～日々のIT運用オペレーションを自動化～

JP1

株式会社 日立製作所

Contents

- JP1/Automatic Operation の概要
- できること
- システム構成例
- 安心してお使いいただくためのサポート

日々のIT運用オペレーションを自動化し、 効率向上やオペレーションミスの防止につなげる

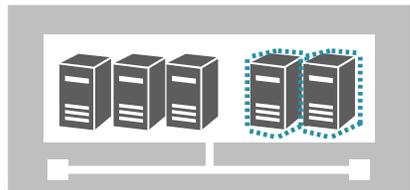


システム運用の現場

作業効率向上



作業品質向上



オンプレミス



ハイブリッドクラウド



マルチクラウド

できること

- JP1/Automatic Operation でできること
- サービス実行によるIT運用の自動化・標準化
- IT運用を自動化するサービス開発の容易化

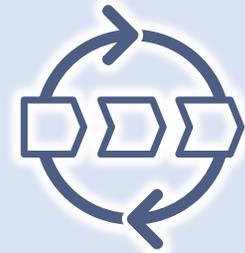
システム運用現場のオペレーション効率・品質の向上



JP1/Automatic Operation

■ サービス実行によるIT運用の自動化・標準化

- 幅広い操作対象のさまざまなIT運用を自動化
- サービステンプレートの活用でスムーズに自動化
- 手順が異なるさまざまな運用オペレーションを標準化
- 繰り返し処理の効率化と判断を含むオペレーションの自動化
- サービスの実行状況をひと目で把握



■ IT運用を自動化するサービス開発の容易化

- お客様独自のサービス開発も容易



幅広い操作対象のさまざまなIT運用を自動化

OS、仮想環境など多岐に渡る操作対象に対し、稼働状況の確認や起動、停止、再起動といった日々の業務、仮想マシンの追加・削除や、障害発生時の復旧業務といった不定期に発生する業務など、単純作業だけでなく、複雑な作業や時間を要する作業も含め、さまざまなIT運用を自動化できます。

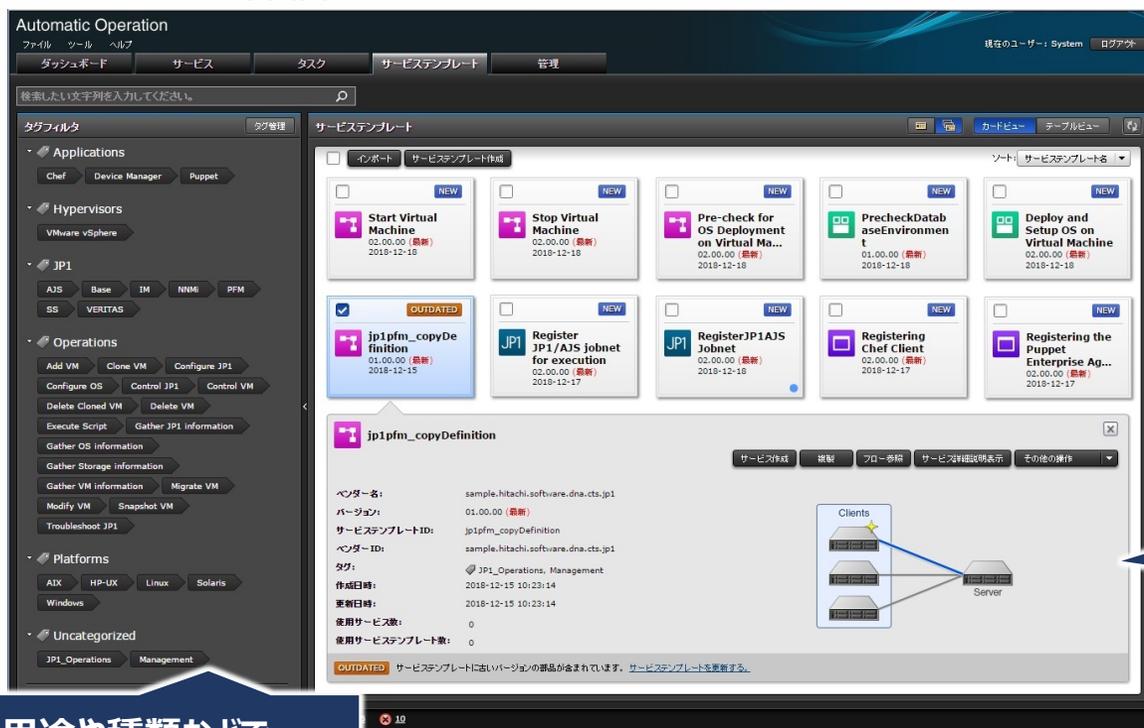


専門知識やノウハウが必要な
運用オペレーションを簡単に実行

サービステンプレートの活用でスムーズに自動化

データセンターや企業内システムで行われる、典型的なIT運用を自動化するサービステンプレートを標準搭載。用途や種類で、必要なサービステンプレートを検索して活用することで、容易にIT運用の自動化を始められます。

サービステンプレート画面



サービステンプレートの例

- ・OSの操作（パスワード変更、ユーザーの一覧取得）
- ・JP1製品の操作（監視設定の追加・削除）

JP1/Automatic Operation Content Pack を購入すると利用できるサービステンプレートの例

- ・仮想環境の操作（仮想マシンの追加・削除、起動・停止）
- ・Amazon Web Servicesの操作

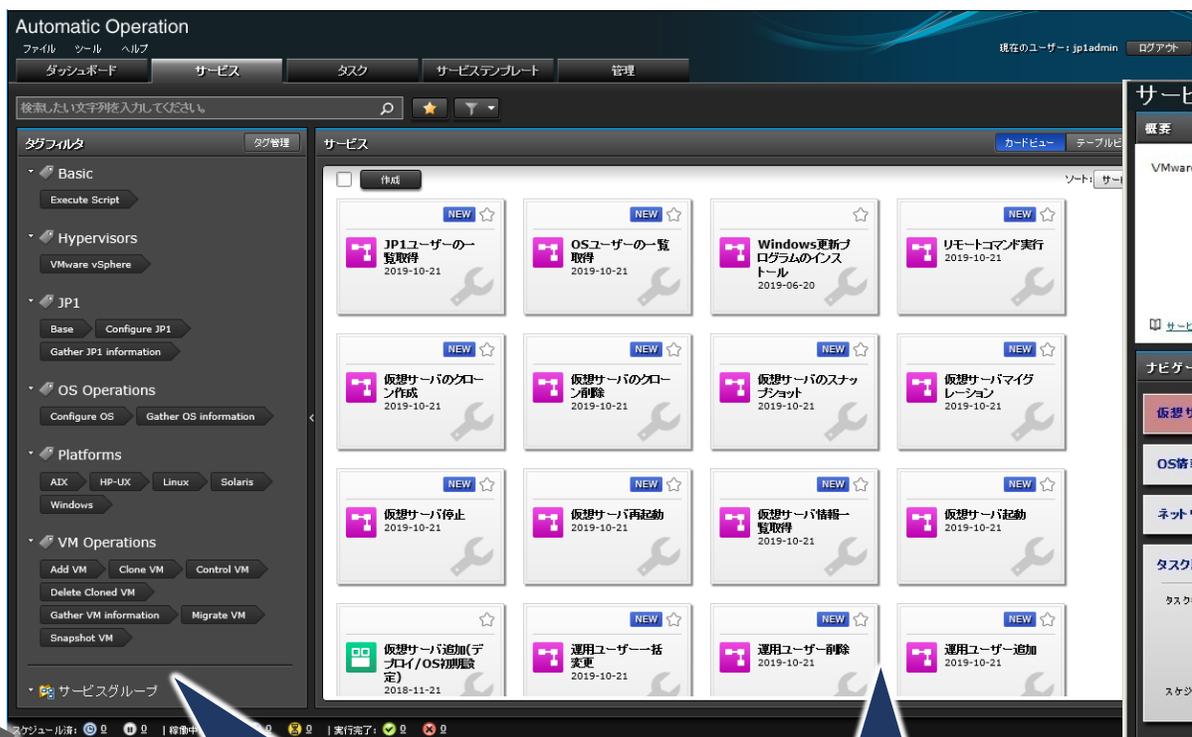
選択したサービステンプレートの詳細を表示

サービスの用途や種類などでサービステンプレートを検索可能

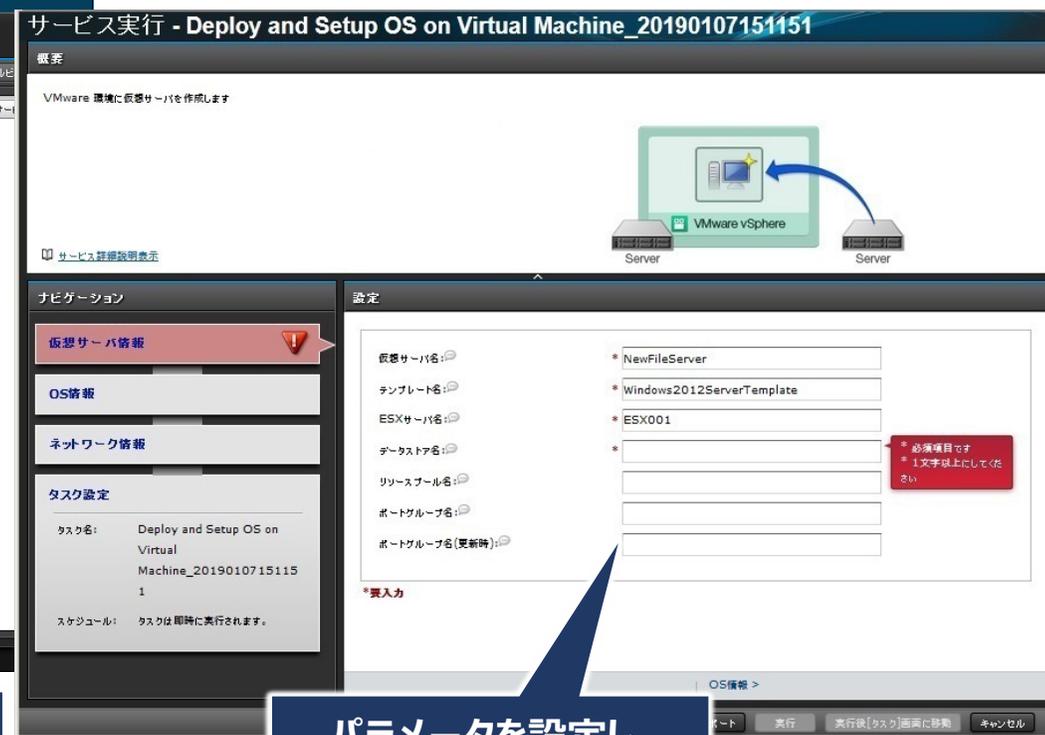
手順が異なるさまざまな運用オペレーションを標準化

サービスの一覧から、実行する運用オペレーションを選択し、必要なパラメータを設定して実行するだけで、一連の運用オペレーションを自動実行できます。

サービス画面



サービス実行画面



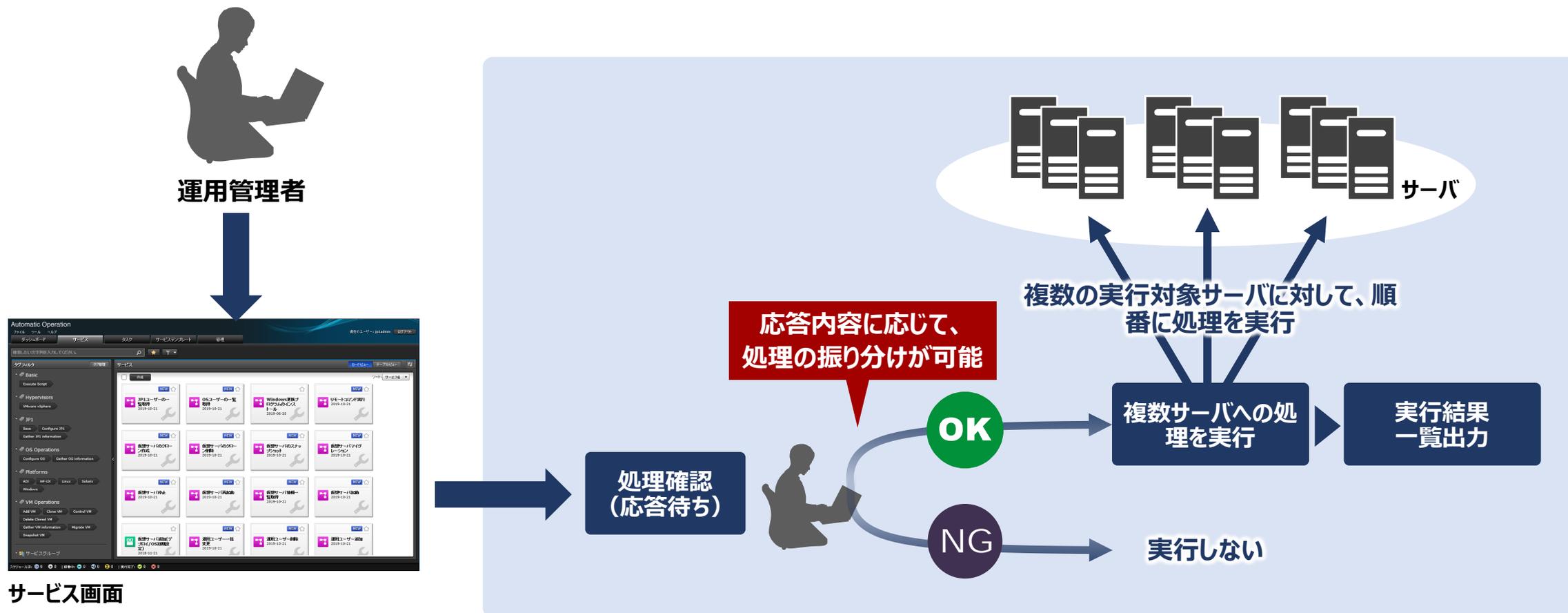
実行する運用オペレーションを容易に絞り込み可能

運用オペレーションを選択して実行

パラメータを設定し、自動処理を実行

繰り返し処理の効率化と判断を含むオペレーションの自動化

複数のサーバに対して繰り返し同じ処理を実行するような運用は、対象サーバを指定してサービスを1回実行するだけで自動化できます。また、人の判断が必要になる運用は応答待ちの状態にすることができ、応答を入力することで後続の処理を自動的に再開できます。



サービスの実行状況をひと目で把握

システム全体で実行されているIT運用のサービス（タスク）の実行状況や実行結果を、ダッシュボード画面でひと目で把握できます。失敗した処理の特定や、失敗したところからの再実行も容易です。

ダッシュボード画面

Automatic Operation
ファイル ツール ヘルプ
ダッシュボード サービス タスク サービステンプレート 管理

失敗回数が多いサービス

サービス名	失敗回数	失敗日
Deploy_Virtual_Machine	3	2018-12-18
ExecuteRemoteCommand	3	2018-12-18
Register_JP1AJS_Jobnet	2	2018-12-18
Register_Chef_Client	1	2018-12-18
GetOSCommand	1	2018-12-18

実行回数が多いサービス
25回実行 / 30日間 期間: 30日以内

サービス名	A	B
Deploy_Virtual_Machine	4	9
ExecuteRemoteCommand	3	3
Register_JP1AJS_Jobnet	2	2
Register_JP1_Event	3	-
Register_Chef_Client	2	1

待応が必要なタスク

- 10 失敗
- 1 長期実行中
- 1 応答待ち中
- 0 スケジュール済

お気に入りサービス

- AWS_Deploy
- Deploy_Virtual_Machine
- ExecuteRemoteCommand
- GetOSCommand
- Register_Chef_Client
- Register_Client_Puppet
- JP1_Register_JP1_Event
- JP1_Register_JP1AJS_Jobnet
- Start_Oracle_DB
- Stop_Oracle_DB
- Stop_VM_Template
- Stop_Virtual_Machine

スタットス: 0 | 実行中: 1 | 実行完了: 12

対処が必要なサービスを把握可能

サービスの実行状況や実行結果をまとめて把握

Automatic Operation
ファイル ツール ヘルプ
ダッシュボード サービス タスク サービステンプレート 管理

タスク画面

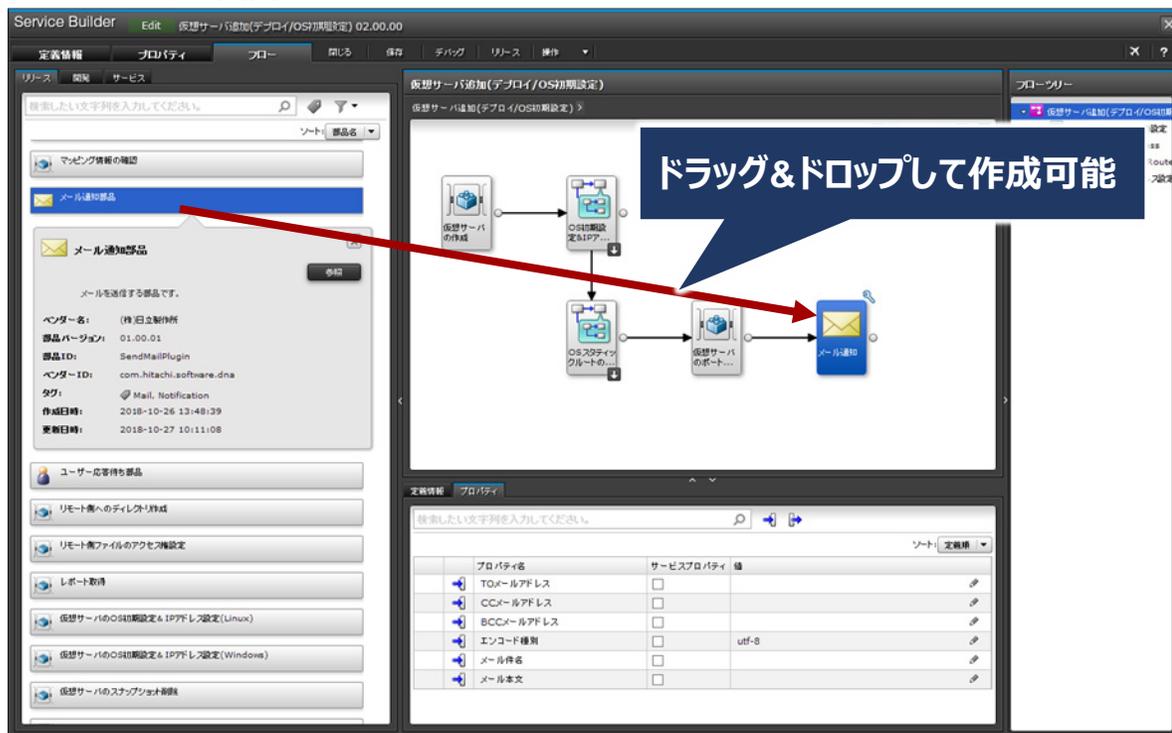
タスク名	ステータス	開始日時	終了日時	実行結果
JP1_Operations	実行完了	2018-09-03 14:00	2018-09-03 16:00	成功
JP1_OS	実行完了	2018-09-03 14:00	2018-09-03 16:00	成功
JP1_Oracle	実行完了	2018-09-03 14:00	2018-09-03 16:00	成功
JP1_VirtualMachine	実行完了	2018-09-03 14:00	2018-09-03 16:00	成功
JP1_WebServer	実行完了	2018-09-03 14:00	2018-09-03 16:00	成功

サービスの実行状況や進捗を確認

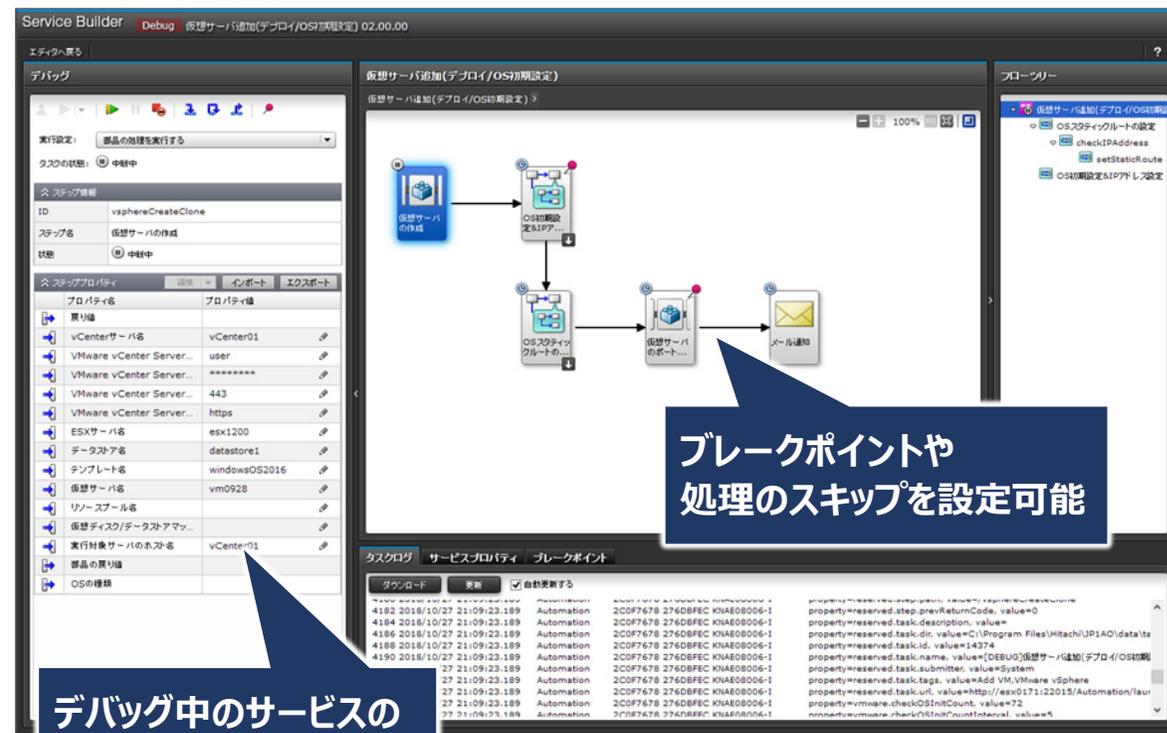
タスク画面（サービスの実行結果の確認）

お客さま独自のIT運用を自動化するサービステンプレートの作成も可能です。既存のサービステンプレートを変更したり、組み合わせたりしてカスタマイズすることで、効率よくお客さま独自のサービスを開発・テストできます。

サービスビルダー画面



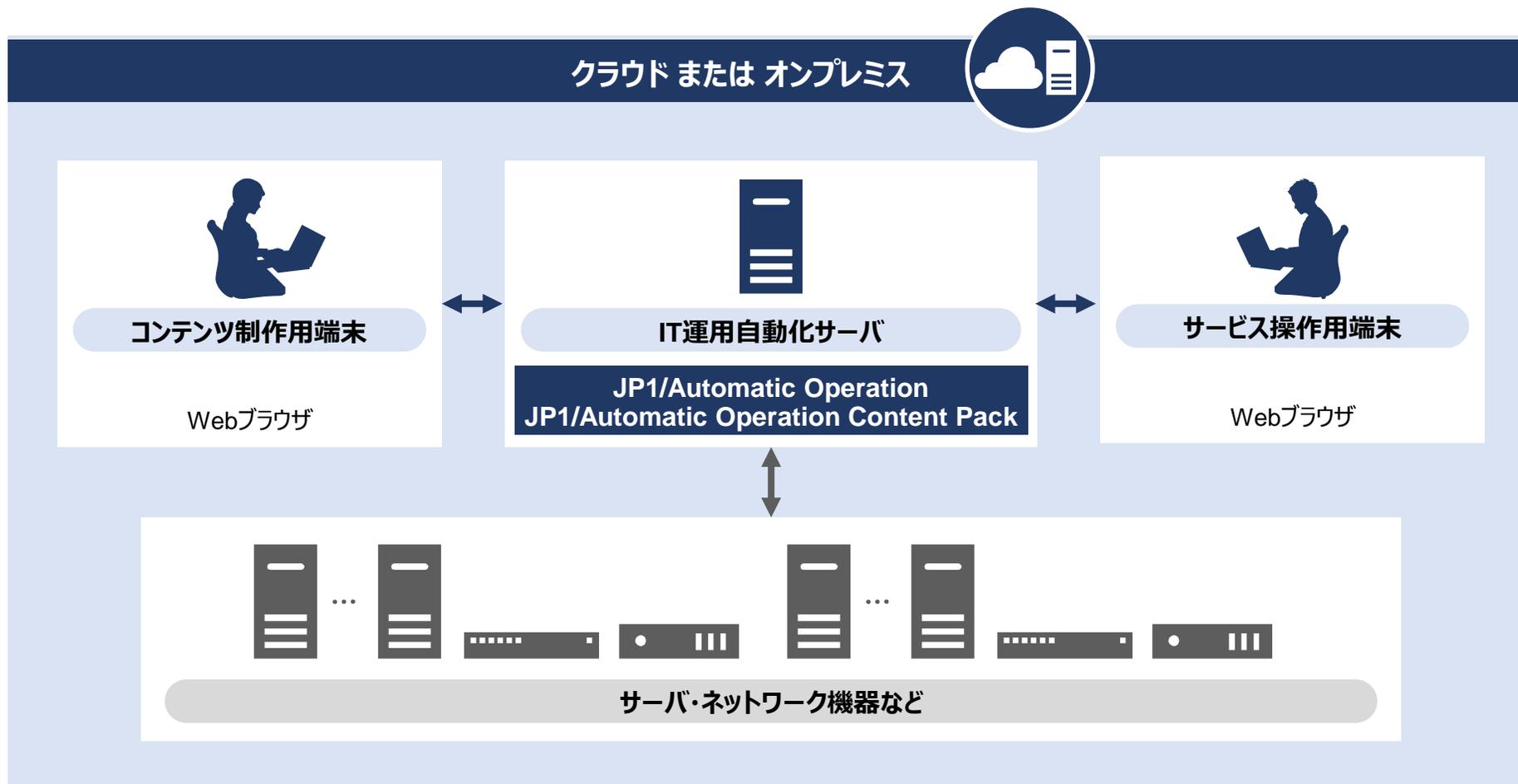
サービスデバッガ画面



システム構成例

- システム構成例

クラウド、データセンター、企業内システムといったシステムにおける日々のIT運用を自動化する場合のシステム構成は、次のようになります。

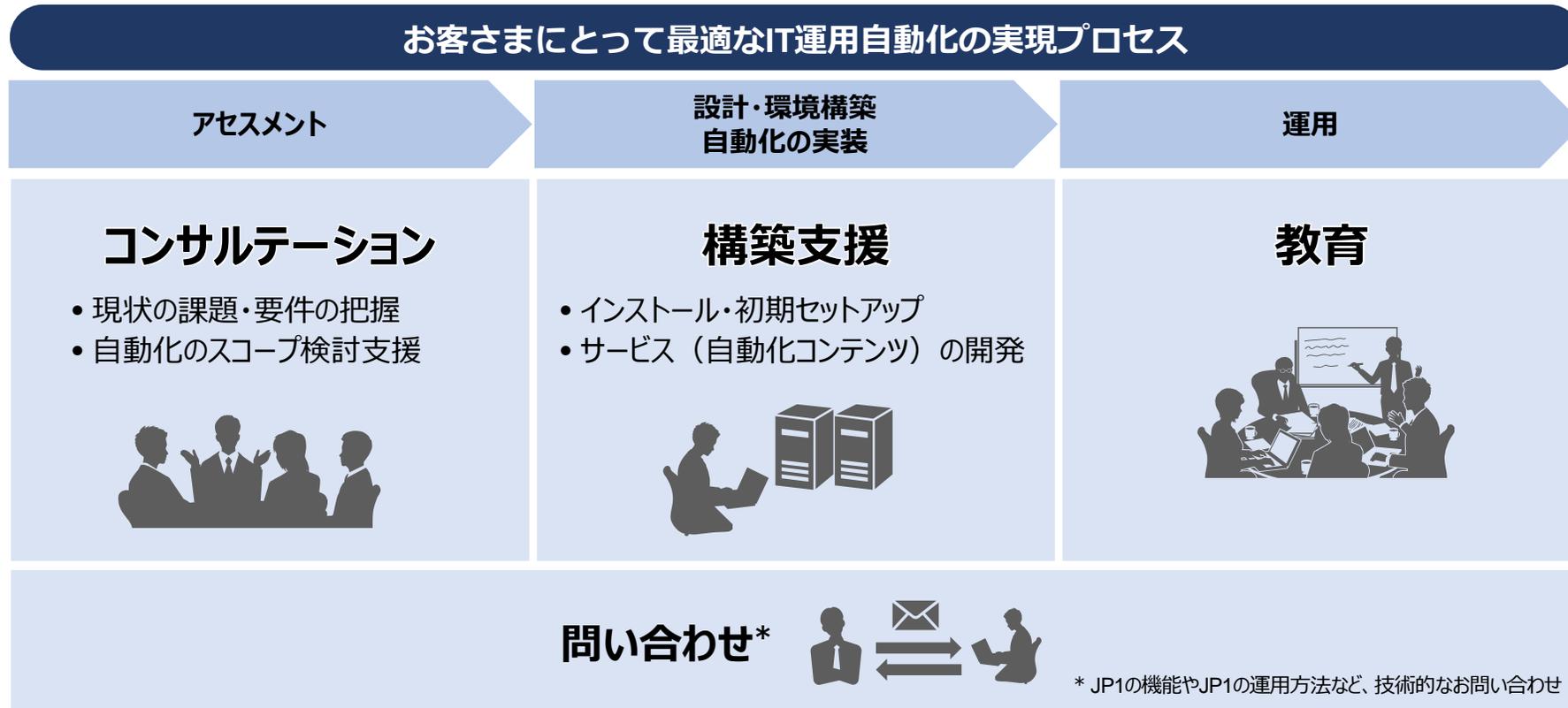


安心してお使いいただくためのサポート

- JP1のプロフェッショナルがお客さまを支援
- ワンストップで問題を早期解決
- 長期利用も安心・下位バージョンとの互換性も保証
- グローバルでの利用も安心
- 確かな品質をお客さまへ

お客さまにとって最適なIT運用自動化を実現できます。

JP1のプロフェッショナルが、お客さまの要件やシステムの規模・環境に適したIT運用自動化の実現を支援します。



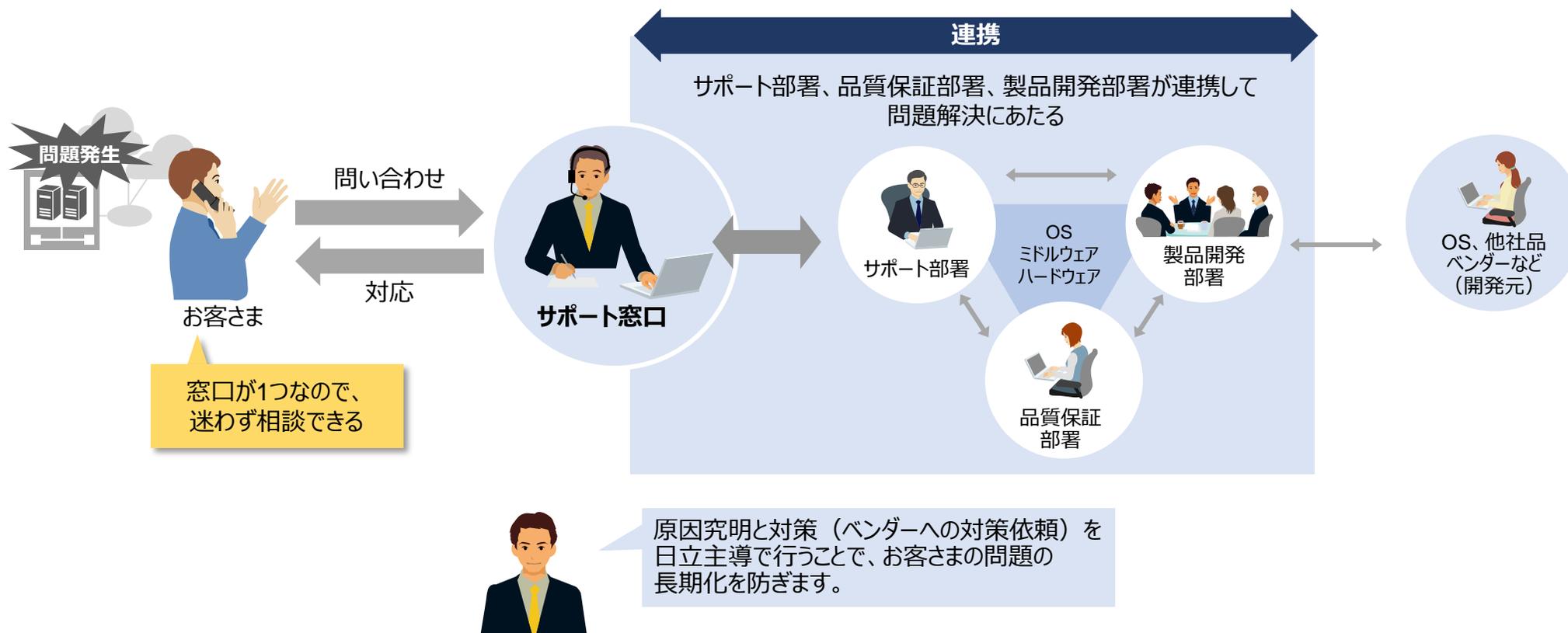
JP1のプロフェッショナルが関わることで、自動化の要件・範囲の明確化、自動化コンテンツの開発期間の短縮、運用部署へのスムーズな引き継ぎが可能です。

※ JP1のプロフェッショナルは、JP1技術者資格認定制度に基づいて認定された、JP1の一定以上のスキルを有する技術者です。

ワンストップサポートで問題を早期解決。問題発生時のお客さまの負担を軽減できます。

OSやミドルウェアなど複数の要素が複雑に関連する問題の早期解決を支援します。

ワンストップサポートで問題を早期解決・再発防止、お客さまシステムの安定稼働を支援



長期利用、業務システムの拡張にも安心してご利用いただけます。

お客さまシステムのライフサイクルが長期にわたる場合にも継続してサポート。
JP1はバージョン間の互換性を確保しているため、段階的なシステム拡張が可能です。

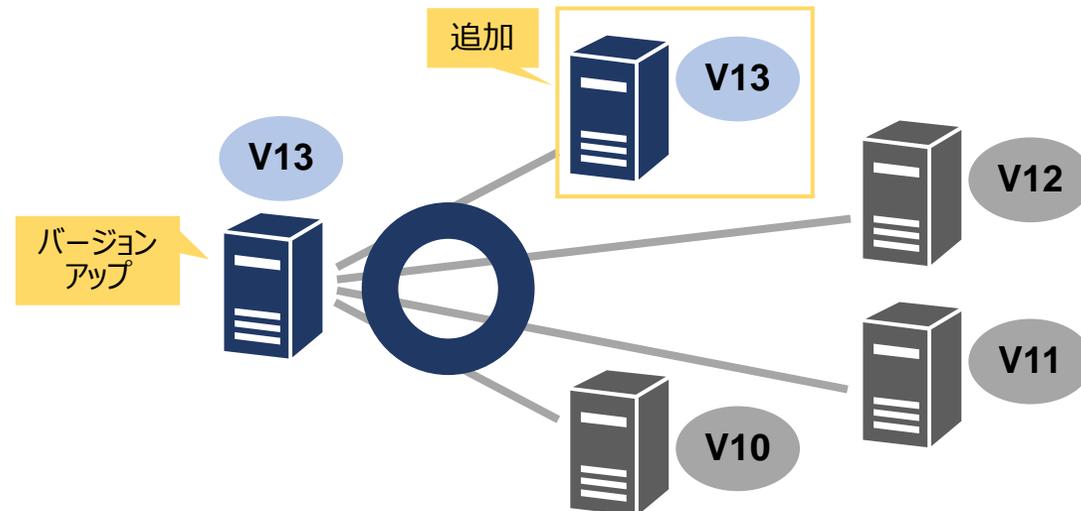
お客さまシステムのライフサイクルを見据えた長期サポート



同一バージョンで

最低**10**年間のサポートを保証

業務システムの拡張に柔軟に対応



下位3メジャーバージョン間での互換性を保証。
JP1のバージョンが混在してもシステムを運用できます。

※ JP1をバージョンアップしても、インターフェースの互換性が維持されるため、
連携する製品・サービスやユーザープログラムなどを改修せずに利用できます。

世界各地で安心してJP1をご利用いただけます。

世界各地域をカバーする販売・サポート拠点がお客さまをサポートします。

世界各地の拠点と日本の拠点が連携してお客さまを支援

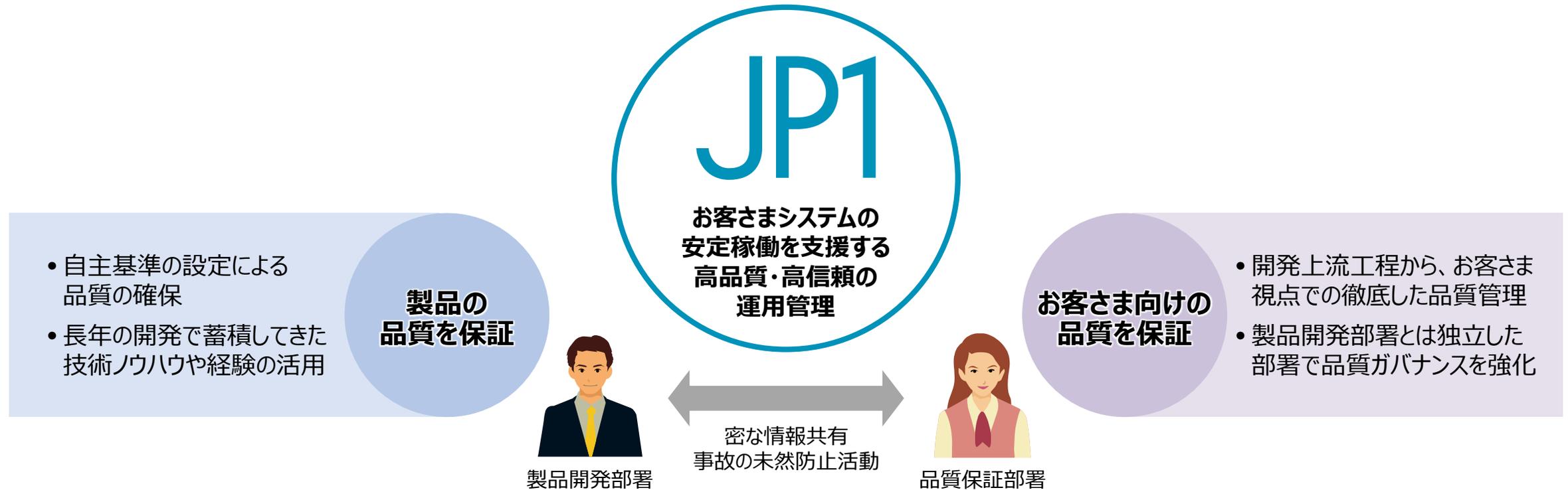


アジア、オセアニア、北米、南米、ヨーロッパ、中近東、アフリカなど、世界の各地域をカバーしています。

日立の販売・サポート拠点が、日本のサポート部署、品質保証部署、製品開発部署と連携してお客さまをサポートします。

ミッションクリティカルなシステムの安定稼働を実現できます。

お客さまに安心してご利用いただくために、高品質・高信頼を維持する体制を整えて取り組んでいます。



- AIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。
- Amazon Web Services、AWS、Powered by AWS ロゴ は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標です。
- Oracle®、Java および MySQL は、Oracle、その子会社および関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Veritas、Veritas ロゴ は、米国およびその他の国における Veritas Technologies LLC またはその関連会社の商標または登録商標です。
- Windows は、マイクロソフト 企業グループの商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

- 記載の仕様は、改良などのため予告なく変更することがあります。
- 掲載している画面イメージは、実際の画面の色調とは異なる場合があります。
- 輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。
- 動作環境や対応状況については、JP1 Webサイトで最新情報をご確認ください。

END

統合システム運用管理

IT運用自動化

JP1/Automatic Operation のご紹介

～日々のIT運用オペレーションを自動化～

株式会社 日立製作所

GPA02j-01 | 2023.8